

ブラームス: 5つの歌曲 作品 71

H. S.

2017.05.20-

目次

全曲の概要	1
第 1 曲 春は優しい恋の季節	2
第 2 曲 月に寄せて	2
第 3 曲 秘め事	2
第 4 曲 私に行って欲しいの？	2
第 5 曲 愛の歌	2
参考文献	2

全曲の概要

本歌曲集は 1877 年 3 月に Wien で作曲された [1][4]. 出版は同年 7 月から 8 月にかけて, 作品 69 から作品 72 までの歌曲シリーズとして Simrock 社から [6]. 交響曲第 1 番の初演が 1876 年 11 月で, Brahms が Simrock へその楽譜を送付したのが 1877 年 5 月であるから, 交響曲第 1 番の改訂の最中に作曲されたことになる. なお, 後述するように第 1 曲「春は優しい恋の季節」の一節が交響曲第 2 番 (1877 年夏に作曲された) に顔を出す.

前後の歌曲集 (作品 70, 作品 72) が数年に渡って作曲された歌曲の集まりである (1877 年に作曲されたものも多く含まれるが) こと [2] と比較すると, この歌曲集はごく短期間にまとまって作られたものであると言える. 内容的にもこの 5 曲はすべて恋愛事を題材としている.

この歌曲集のなかで最も有名な第 5 曲「愛の歌」は Ludwig Höltz (1748–1776) の詩によっており, 同じ詩に対して Schubert や Mendelssohn も作曲している. Karl Candidus (1817–1872) による第 3 曲「秘め事」も絶妙な音楽的効果のために評価も高い. なお, Clara Schumann が本歌曲集に関して Brahms に感想を述べた手紙が現在まで残っている [5].

第1曲 春は優しい恋の季節

Die Wellen blinken und fließen dahin,
Es liebt sich so lieblich im Lenze!
Am Flusse sitzt die Schäferin
Un windet die zärtlichsten Kränze.

Das knospet und quillt und duftet und blüht,
Es liebt sich so lieblich im Lenze!
Die Schäferin seufzt aus tiefer Brust:
"Wem geb' ich meine Kränze?"

Ein Reiter reitet den Flußentlang,
Er grüßet so blühenden Mutes,
Die Schäferin schaut ihm nach so bang,
Fern flattert die Feder des Hutes.

Sie weit und wirft in den gleitenden Fluß
Die schönen Blumenkränze.
Die Nachtigall singt von Lieb' und Kuß
Es liebt sich so lieblich im Lenze!

第2曲 月に寄せて

第3曲 秘め事

第4曲 私に行って欲しいの？

第5曲 愛の歌

参考文献

- [1] 「作曲家別名曲解説ライブラリー ブラームス」音楽之友社 (1993)
- [2] 志田 麓 訳「ブラームス・リーダー対訳全集」新潮社 (1980) 解説 原田 茂生
- [3] 西原 稔「作曲家 人と作品シリーズ ブラームス」音楽之友社 (2006)
- [4] 三宅 幸夫「ブラームス」新潮文庫 (1986)
- [5] ベルホルト・リッツマン編 (編訳: 原田 光子)「クララ・シューマン ヨハネス・ブラームス 友情の書簡」みすず書房 (2012)
- [6] 「ブラームス・コンプリート・エディション 6 - 歌曲集 (バンゼ／シュミット／ドイツ)」(CPO) の

ブックレット (NML)